

第46回通常総会 議事次第

- 一、開会の辞
- 一、会長挨拶
- 一、来賓祝辞  
(農林水産省・Jミルク・雪印メグミルク株式会社)
- 一、議長選任
- 一、議事録署名人選出
- 一、議案審議
  - 第一号議案  
令和4年度事業報告書承認の件
  - 第二号議案  
令和4年度決算報告書承認の件
  - 第三号議案  
令和5年度事業計画  
および収支予算書報告の件
- 一、閉会の辞

通常総会では、令和4年度の事業報告、令和5年度の事業計画報告、令和5年度の事業計画および収支予算報告、を行っていました。

総会は、定数38名に対して委任状出席、権利行使届含む36名の出席があり、全改協定款第19条および総会運営規程

第7条により成立いたしました。別表にお示しした次第のとおり、宮崎副会長の開会宣言後、木納会長から開会の挨拶がありました。引き続き農林水産省畜産局牛乳乳製品課、賛助会員、乳業メーカー、関係諸団体からお招きした来賓を紹介し、来賓を代表して農

林水産省畜産局牛乳乳製品課 林課長補佐、一般社団法人 Jミルク 内橋専務理事、雪印メグミルク株式会社 稲葉取締役のお三方からご祝辞をいただきました(次項以降に内容を掲載しています)。

議長に北海道流改協北本会長、議事録署名人に新潟県流改協川田会長、岡山県流改協青野会長を選任して議事に移行しました。

議長は、冒頭に記しましたように、令和4年度の事業報告、令和4年度決算報告について審議し、承認されました。次いで本年度の事業内容、予算の説明があり、その後白羽副会長の閉会の辞をもって総会本会議は終了いたしました。

# 第46回全改協通常総会開催

## 課題解決に向けて一丸となって取り組みを

一般社団法人全国牛乳流通改善協会(全改協)は、第46回通常総会を、去る6月9日、東京・市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷にて開催しました。



〒101-0065 東京都千代田区西神田3-1-2ウインド西神田ビル502  
 発行所 一般社団法人全国牛乳流通改善協会  
 TEL.03-6380-8021  
 FAX.03-6380-8435  
 e-mail: mail@zenkaikyou.or.jp  
 U R L : www.zenkaikyou.or.jp  
 twitter: @zenkaikyou  
 facebook: 全国牛乳流通改善協会

紙面から

- 第46回全改協通常総会開催報告 (一、三、四、五面)
- 令和5年度事業計画の概要 (三、四、五面)
- 地区別会議の開催報告 (四、五面)

挨拶

一般社団法人  
全国牛乳流通改善協会 会長  
木納雅康氏



第46回通常総会にあたり、開会のご挨拶を申し上げます。本日は足元の悪い中、ご多用にもかかわらず、来賓、正会員、賛助会員の関係各位にお集まりいただき誠にありがとうございます。長引くコロナ禍ではありますが、昨年引き続きこのように対面での総会を開催できることを嬉しく思っております。開催に際しまして、皆さまのご協力に心より感謝申し上げます。

会長就任からのこの一年は、新型コロナウイルスによる生活環境の変化が続き、また、ウクライナ情勢で物価が高騰する世の中で、会員さまの現状把握をする事と課題を見つけ出す1年でございました。これからは問題のある課題を精査して取り組んでまいります。

今年6月は、1日の「世界牛乳の日」に始まり6月いっぱい「牛乳月間」と位置づけております。酪農乳業界にとって意義のあるタイミングでの通常総会の開催

となりました。

昨今のわが国の酪農乳業界をとりまく状況は厳しさを増しており、生乳生産量と消費量との乖離は大きな社会問題となっております。また、輸入飼料や燃料、諸経費の高騰により、乳価の再度改定が予定されるなど、加盟店にとっても大変厳しい状況が今後控えております。私ども全改協の大きな使命は、お客さまと直接の接点をもつ全国の牛乳販売店が、地域密着のうえ「元祖宅配」である配達システムによって消費者に牛乳乳製品を通じて健康をお届けする、というこの長年培われて確立された貴重な物流システムの維持に貢献し、そして牛乳乳製品の消費を拡大することにあります。このため、今年度は、流改協組織の効率的、効果的な新たな体制の確立と業界活性化のための事業に重点を置いて取り組むこととしております。詳しくはこのあとの本年度の事業内容説明にて事務局よりご報告いたします。本日も臨席を賜りました農林水産省はじめ関係の皆さまにおかれましては、私ども全改協の組織運営、そして全国の牛乳販売店の健全な経営の維持に対してさらなるご支援を



# 毎日の健康を応援いたします!

宅配専用

## 長期常温保存可能

- なめらかな食感
- 大豆本来の香りと甘み
- 冷奴におすすめ

## お料理に

- しつかりとした硬さ
- 水切り不要で手間いらず
- お鍋やお料理におすすめ

森永乳業



お願い申しあげます。また、関連団体の皆さまにも、改めてご協力ならびに連携の強化をお願い申し上げます。

冒頭に、本日通常総会を開催する日程的な意義を申しあげましたが、もう一点縁をご紹介します。当会場 アルカディア市ヶ谷の近辺、千代田区市ヶ谷や番町、また、当全改協の事務局の近辺の

神田三崎町や飯田橋等には、明治時代には牧場が多く存在し、それらが現在まで続く大手乳業メーカーさまの基礎となるなど、ゆかりの深い地であります。これは、維新で不要になり空き地となつた大名の屋敷跡の広大な土地を利用して、失業した士族らが搾乳業を始めたことがその起源です。士族が、時代の変化にと

ない、失業という危機を乗り越え、思いきつて未知の業種に挑んだイノベーションの結果が、現在のわが国の酪農乳業につながっているわけで、私たち牛乳宅配業者も、この苦しい時代に、新たな考えを持つたイノベーションで切り込み、切り拓いていくことが必要だと思っております。毎年開催する「優良事例発表会」では、私たちの加盟店のすぐれた取り組みが発表され、全国の加盟店の参考と励みになつていと思っております。この優良事例をはじめとし、酪農乳業界が目指す事業への参加、そして加盟店の活性化のための事業を、農林水産省、関係各団体、そして乳業メーカーの皆さまの

協力をお願いいたします。本日は最後までよろしくお願いたします。

むすびに、加盟店の皆さまの益々の繁栄を祈念いたしまして開会の挨拶いたします。

本日は最後までよろしくお願いたします。

**祝辞**  
農林水産省畜産局  
牛乳乳製品課課長補佐  
林康之氏



第46回通常総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。本日はご参会の皆さまにおかれましては、日頃から我が国の酪農・乳業の発展にご尽力いただき、感謝申し上げます。また、地域に根ざしたさまざまな生活支援サービスや、宅配業を通じた牛乳乳製品の安定供給と消費拡大にご尽力いただいております。ことに、重ねて御礼申し上げます。

4月から加工向け乳価の引き上げが行われ、8月には、昨年11月に引き続き、乳飲料向け乳価の引き上げが行われるものと伺っております。先日公表されたJミルクの需給見直しにおいて、23年8月以降の牛乳消費は、前年比3〜6%の減少となるなど、厳しい状況が見込まれてい

る中、目下の取り組みとして、値上げに伴う需要減退を招かぬよう、需要や消費の拡大に取り組んでいただくことが重要だと考えております。政府としても、これまでの取り組みに加えて、3月28日よりまとめた「畜産酪農研究対策パッケージ」におきまして、訪日外国人観光客や子ども食堂等を対象とする牛乳乳製品の消費拡大対策を、Jミルクを事業実施主体として新たに実施しております。すでに、6月1日の「世界牛乳の日」から2日間、成田空港で牛乳を配布いたしました。観光地での牛乳の配布やカーポンの配布に向け、現在、空港等と調整を行っております。引き続き事業の推進に努めてまいります。

またそのほかの消費拡大の取り組みとして、農林水産省が昨年Jミルクと共同で立ち上げた「牛乳でスマイルプロジェクト」への参加を、業界内外のさまざまな自治体、団体、企業等と呼びかけ、現在350を超える事業者に参加していただき、業界の枠を超えた連携を深め、参加者同士が新たに共同で取り組むなど、消費拡大の輪を広げております。

こうした中、加盟店の皆さまにおかれては、日頃から消費者とのつながりを持たれているという、牛乳販売店の強みを活か

しながら、消費者ニーズに合わせた宅配など、創意工夫のある取り組みを実践し、さらには地域の見守り機能など、牛乳販売店という役割を超えて、定期的等に直接届けられていることと認識しております。今後とも、各地域において全改協を中心としてそうした取り組みを通じて、消費者の信頼確保と牛乳乳製品の消費拡大にご尽力いただきますようお願い申し上げます。本日はご列席の皆さまの益々のご発展を祈念いたしましてごあいさつとさせていただきます。本日はおめでとうございます。

**祝辞**  
一般社団法人Jミルク  
専務理事  
内橋政敏氏



第46回通常総会の開催をお慶び申し上げます。日頃より、私どもJミルクの事業活動の推進に對しまして、会員各位ならびに役員の方々の皆さまには特段のご支援、ご協力をいただきまして、この場をお借りいたしまして御礼申し上げます。

さて、酪農乳業をとりまく状況につきましては、木納会長、農林水産省林課長補佐よりお話しがありませんように、コロナ禍に加えてウクライナ情勢、また足元では円安の進行でコストが急騰し、業界ではいずれもその対応に苦慮しており、厳しい事業環境に直面しているところでございます。食品全体の値上げの中で消費者の節約志向が強まり、牛乳乳製品は昨年末の価格改定により、残念ながら消費が低調に推移していると言わざるを得ない状況です。加盟店の皆さまにとりましても、契約の継続あるいは新規開拓が非常に厳しい状況かと推察いたします。こうした中、酪農乳業界では、本年8月には昨年に続いて短期間に2度目の乳価の改定を控えております。

Jミルクの消費動向調査にて、昨年は特に、物価高の中の牛乳購入についての質問を行いました。「物価高の中で牛乳の値上がりを実感した消費者」が、実際にどれぐらい値上がりすると購入を控えたか、との質問に對して、「30円」という回答が多かった。その結果から判断すると、8月から想定される値上げに伴う消費への影響については、大いに警戒しております。いっぽうで、健康意識の高い消費者が牛乳消費を支えている、という実態も明らかになっており、日頃より、加盟店の皆さまが、牛乳乳製品の栄養と健康効果について地域に理解を深める結びつきをされていることの成果だと理解しております。

ミルクサプライチェーンは、酪農、乳業、流通、販売から消費者までの相互依存関係がなければ、製品の社会的価値を現れない、という特徴を持っています。加盟店の皆さまは、直接消費者との接点があり、製品の価値向上に貢献する事業展開をされております。Jミルクとしてもこの点を消費者に理解を得るよう努めていく所存です。

Jミルクでは、6月1日の「牛乳の日」、6月の「牛乳月間」をはじめとして、学校が休みの8月に向けて、「牛乳でスマイルプロジェクト」、「土日ミルク」などのキャンペーンを各種ツールを提供し実施しております。またこの夏には、日本栄養士会と連携し、全国1,000箇所、牛乳を使った実践的な栄養指導を行うことも計画しております。加盟店の皆さまにもご参加、活用いただけるのであれば、当会としても心強いこととさせていただきます。

Jミルクは、酪農・生産者、乳業メーカー、牛乳販売店で組織された団体であります。現在の厳しい状況を一丸となって乗り越えて行けるよう、最大限取り組み、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。最後に、全国牛乳流通改善協会および加盟店の益々のご隆盛と、皆さまの御健勝を祈念いたしまして、総会開催のお祝いの言葉といたします。

**祝辞**  
雪印メグミルク株式会社  
取締役 常務執行役員  
稲葉聡氏



本日は、第46回通常総会の開催心よりお祝い申し上げます。また、総会の運営に携わられた役員、事務局、各地域において事業活動を推進されている会員の皆さまには、平素より私ども乳業各社に対し、格別のご高配を賜り、まことにありがとうございます。

さて、先程来のご挨拶にありますが、ロシアのウクライナ侵攻や円安等によって、世界的に、原材料やエネルギーコストの高騰が続いており、商品の値上げが相次いでおります。乳業界においても、飼料、穀物価格の高騰や生産コストの高騰により、昨年11月の飲用向け、今年4月の発酵乳・集団飲用向けの乳価が改定され、8月には再度飲用発酵向け乳価改訂が予定されているという厳しい経営環境の中、加盟店の皆さまにおかれては、お客さまとの信頼関係の維持、牛乳乳製品の消費拡大に多大なご尽力を賜っておりますこと、各社を代表して深く御礼申し上げます。またこのような状況の中、酪農乳業関係者が一致協力し、生乳生産基盤を維持し、需給の安定化に取り組みでいかねばならないと考えており、メーカーといたしましては、

全改協はもとより、Jミルク等関係団体との連携を深め、牛乳製品のみならず役割や価値を消費者に再認識していただくなど、需要回復に向け努力してまいりる所存ですので、引き続きよろしくお願いたします。

さて、昨年度、2月17日に開催された牛乳販売店優良事例発表会に参加し、6名の加盟店の発表を拝聴しました。皆さまの取り組みに共通していたことは、コロナという制約された環境に対して、柔軟な発想でお客様に寄り添い、満足度を高める独自の工夫を凝らした活動を実践され、成果を上げておられました。お客さまをひとくくり

で捉えることをせず、お一人おひとりのお客さまと密接にかかわっていくことが地域密着につながっていくという事を実感いたしました。また、牛乳販売店の皆さまは、永年に亘るご努力により、お客さまと、太くかつ永い結びつきを築かれてまいりました。優良事例発表会に思うことは、マークの枠を超えた全改協の組織を通じ、長年培ってきた営業手法や、顧客サービスなどの取り組みの内容を惜しみなく共有されている、ということだと思います。日本の文化といえる牛乳宅配サービスをつくりあげ、発展させてきた皆さまの真摯な姿勢に深く敬意を表する次第であります。

今後ますます環境変化が激

しくなることが予想されますが、牛乳製品をお客さまの玄関先までお届けする、ラストワンマイルを担う牛乳販売店の位置づけは、変わらないというよりも、今後ますます高まるものと思われまます。木納会長が常日頃おっしゃるとおり、地域密着活動の地道な実践継続、牛乳宅配サービスの価値向上、ならびに、牛乳販売店の地位向上につながることを期待申しあげま

す。私どもも、乳業各社の強みを活かして牛乳製品の価値を提供し続けることに、今後も微力ながら貢献してゆく所存でございます。

最後に、全国牛乳流通改善協会ならびに酪農乳業界の益々のご発展、ご列席の皆さまのご繁栄とご健勝を祈念いたしたいと思います。本日はおめでとうございます。



# 令和5年度事業計画の概要

令和5年度に全改協として実施する予定の事業のうち、第46回通常総会にて承認された大きな事業についてご説明します。なお、これら総会にて承認された事業のほかにも、政策、酪農乳業の動き、社会情勢、経済情勢など、その時その時の状況に応じて、全改協として機動的に事業や対策を実施することにしてまいります。それらにつきましては、実施の機会に、流改協、マーク協、全改協だより等を通じてお知らせいたします。

## 1 加盟店サポート事業

全改協事業のうち、特に、加盟店である牛乳販売店のみなさまに対して、直接のサポートとして感じていただける事業です。

### (1) ミルクカレンダーの制作・あっせん事業

牛乳を使ったレシピを紹介する全改協オリジナルのカレンダーを制作し、加盟店等を通じてお客さまに配布します。料理監修は、有名創作和食店の笠原将弘先生。「牛乳をたっぷり使った 和のごはん」のタイトルで、牛乳びん一本分

### (2) 食品等流通合理化緊急対策事業

加盟店の皆さまが設備や機器——宅配システム、冷蔵車両、保冷車両、冷蔵庫・冷凍庫等——を導入される場合、その費用軽減を図るため、公益財団法人食品等流通合理化促進機構の支援事業の活用により、リース負担額の軽減を図

る事業です。指定リース会社との契約により、リース費用の2/3を機構が肩代わりするため、リースの利息の2/3相当分が値引きされ、負担は1/3に軽減されます。この事業を活用すれば、次のようなメリットが期待できます。

- リースの採用により、設備導入時に多額の資金の準備が不要
- リース料の支払いだけでよく、資産を管理する必要がないため、事務処理の省力化が図れる
- 会計処理上、リース資産を計上する必要がない

例(通常利息が2%の場合) 900万円の設備を5年間リース契約する場合、経費負担が5年間で60万円安くなります。(事業の利用なしの場合、利息は180,000円×5年=900,000円、180,000円×1/3×5年=300,000円。)

複雑な手続きは、全改協の事務局で行います。

HACCPによる衛生管理のための冷蔵車両の導入や、環境対策としてEV(電気自動車)等導入に、ぜひ利用をご検討ください。

## (3) 組織活性化事業

● 加盟店の皆さまのための事業として、昨年度から引き続き、お店の従業員、スタッフの求人のお手伝いを求人会社と提携して特別価格にて行っています。

● 全改協、流改協全体についての検討として、現在の全改協、流改協の組織や事業の内容等を検証、見直すことにしています。このため、次の3つの委員会を組織し検討を行います。

- ◎ 組織検討委員会 各都道府県の流改協が組織運営を行ううえでの課題について検討する
- ◎ 既存事業の見直し 「牛乳販売店の優良事例発表および表彰」事業、「ミルクカレンダーの制作・あっせん」事業について見直す

◎ その他全改協事業の見直し、検討

## (4) 研修支援事業

加盟店の皆さまに、経営に直結する有益な情報のご提供、法令や制度のご説明のための説明資料のご提供を行います。また、都道府県流改協が主催する研修会については、オンライン併用で全国の加盟店が同時に視聴参加できる形式の開催を全改協が費用負担することを検討しています。

牛乳販売店の日常業務とSDGs

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会の一員として、すでにやっていることを、振り返り、日々行っている業務内容が目標に対して達成しているか、SDGs目標には○を記載しているか、SDGs目標には△を記載しているか																	
社員や家族を守るために安全衛生水準を確保している																	
就業規則の制定や社会保険制度への加入を取り組んでいる																	
機密性商品の取扱いや高齢者などの安楽搬送を実施している																	
お客様の健康や安全に関する取組に力を入れている																	
栄養機能商品の販売促進や健康や福祉の推進に取り組んでいる																	
感染症予防に対して適切な取組を行っている(ガイドラインの遵守)																	
スタッフに対するSDGs研修を実施している																	
男女平等の観点から女性の活躍や登用に取り組んでいる																	
女性の活躍や昇進の比率を高める取組を、対等に取組んでいる																	
事業内容は、空のスペースや設備機器など水や衛生管理に関わっている																	
エネルギー効率向上のための設備機器の定期的更新や導入を推進している																	
事業を拡大して人員採用を増やし、雇用機会を創出している																	
安全かつ衛生的な仕事ができる体制や対策を取り組んでいる																	
研修・分業の推進で職場環境の改善に取り組んでいる																	
店舗にEV/FCVなどの低公害車やEV/FCVの充電設備を整えている																	
店舗・事務所の節電など省エネに取り組んでいる																	
フードロス・フードワASTEを削減している																	
社会貢献活動として、不平等の解消に取り組んでいる																	
スタッフ採用時に年齢、性別、障がい、学歴、人種、国籍、宗教などを差別していない																	
外国人労働者に適切な労働条件や環境を提供している																	
地域コミュニティの行事に積極的に参加している																	
買い物難民への支援や高齢者の見守り活動を実施している																	
空き家の完全回収や資源の再利用を推進するとともに、廃棄物の削減に取り組んでいる																	
その他商品の配達時の包装を削減するなど、省資源に取り組んでいる																	
プラスチック製容器包装などの分別を徹底している																	
地域の自治会に加入し、防災訓練などに参加している																	
災害時、非常時に迅速な対応や物資の提供に取り組んでいる(水、食料品、日用品など)																	
顧客満足、レジ袋の削減を実施している																	
廃棄物の削減のため、在庫管理を徹底し、先入先出の発行																	
紙、段ボール、空き缶、空きビン、ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底																	
安全/パトロールなど暴力や犯罪の被害や被害者社会の実現に関わっている																	
社会貢献活動として、暴力や犯罪の減少などに協力している																	
社会的勢力との関わりを持っていない																	
関係団体を通して、若年学業修了率向上などの連携を推進している																	
様々な企業や公的機関、大学などと良好な協力関係を構築している																	
地域社会と良好な協力関係を構築している																	

自店のSDGsチェックリスト

ゴール/ターゲット	取り組み内容	チェック
1. 貧困をなくそう	機密性商品の取扱いや高齢者などの安楽搬送を実施している	○
2. 質の高い教育をみんなに	スタッフに対するSDGs研修の実施	○
3. 健康と福祉をみんなに	お客様の健康や安全に関する取組に力を入れている	○
4. 働きがいも経済成長も	事業を拡大して人員採用を増やし、雇用機会を創出している	○
5. 性別平等をすすめる	男女平等の観点から女性の活躍や登用に取り組んでいる	○
6. 安全な水とトイレを世界中に	店舗・事務所の節電など省エネに取り組んでいる	○
7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに	エネルギー効率向上のための設備機器の定期的更新や導入を推進している	○
8. 働きがいも経済成長も	研修・分業の推進で職場環境の改善に取り組んでいる	○
9. 産業と技術革新の基盤をつくろう	店舗にEV/FCVなどの低公害車やEV/FCVの充電設備を整えている	○
10. 人や国の不平等をなくそう	外国人労働者に適切な労働条件や環境を提供している	○
11. 住み続けられるまちづくりを	買い物難民への支援や高齢者の見守り活動を実施している	○
12. つくる責任 つかう責任	廃棄物の削減のため、在庫管理を徹底し、先入先出の発行	○
13. 気候変動に具体的な対策を	プラスチック製容器包装などの分別を徹底している	○
14. 海の豊かさを守ろう	紙、段ボール、空き缶、空きビン、ペットボトル等、リサイクルできるものの分別の徹底	○
15. 陸の豊かさも守ろう	安全/パトロールなど暴力や犯罪の被害や被害者社会の実現に関わっている	○
16. 平和と公正をすべての人に	社会的勢力との関わりを持っていない	○
17. パートナーシップを世界全体で	関係団体を通して、若年学業修了率向上などの連携を推進している	○

(5)SDGsへの取り組みのバックアップ  
最近よく耳にする言葉「SDG」。国連が定めた、2030年までに達成すべき持続可能な17の開発目標のことです。実は牛乳販売

店にも関係するだけでなく、今までの日常業務でもかかわっており貢献している項目もあります。簡単にわかるよう、一覧表を作成し、加盟店の皆さまの取り組みを推進、サポートいたします。

2 牛乳販売店の優良事例発表 および表彰事業

加盟店の優れた取り組みを広く発表し、加盟店の皆さまの経営に役立てていただくための事業です。コロナ禍で多様化した生活様式に対応し、従来の基本的な宅配スタイルに加え、新たな営業形態や新たな宅配方式に

取り組み加盟店の事例を、加盟店の皆さまと分かち合い、経営の向上に役立てていただきます。

参加しやすいように、応募資格を一部見直すことにしています。加盟店の皆さまの積極的な応募をお待ちしています。

3 事業会議

全改協の本年度事業の内容が加盟店の皆さまに確実に伝わるようご説明するとともに、加盟店さま、流改協、マーク協からの意見を伺い、全改協全体の活動に活かす目的で開催しています。すでに6月に実施しました。会議内容の報告は、下の記事をご参照ください。

4 広報関連事業

①機関紙「全改協だより」の発行  
機関紙「全改協だより」は、

例年どおり年4回発行します。全改協の事業内容を中心に、そのほか加盟店の皆さまに役立つ情報、関連する法律や政

地区別会議を開催しました

本年度の事業内容でも説明してありますが、全改協の事業内容を都道府県流改協事務局と都道府県の

②全改協ホームページ  
都道府県流改協や加盟店の皆さまに全改協から提供する情報、必要な文書、知っていただきたい情報などをタイムリーに掲載し、必要に応じてダウンロードしていただけるようにしています。そのほか常時情報を掲載し、一般に向けても宅配牛乳や牛乳販売店への理解を深めていただくようにしています。

＜地区別会議 開催日と開催場所、参加都道府県＞						
実施日	6/14(水)	6/20(火)	6/21(水)	6/27(火)	7/7(金)	
開催地	東京	大阪	福岡	名古屋	仙台	
参加都道府県	栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 石川県 福井県 岡山県 メーカー各社	滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県	広島県 山口県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 鹿児島県	岐阜県 愛知県 三重県 滋賀県	北海道 青森県 岩手県 宮城県 山形県 福島県	
担当役員	木納会長 宮崎副会長 家村専務 全改協事務局	木納会長 白羽副会長 家村専務 伊藤専務 全改協事務局	木納会長 家村専務 全改協事務局	木納会長 白羽副会長 伊藤専務 全改協事務局	木納会長 伊藤専務 中島専務 全改協事務局	

右記の都道府県流改協の事務局、ならびに各マーク協の代表者の方が出席されました。

コロナ禍により新たな会議開催のノウハウとして獲得したweb会議の開催手法を活かし、今年度は、東京会場では、対面とwebの併用で開催しました。

自然の恵みを楽しむ方へ  
**おいしい**  
雪印メグミルク牛乳

低温脱気製法  
低温でやさしく酸素を除去してから殺菌することで生乳本来の“おいしさ”を保つ技術です。



**カルパワー**  
1日分のカルシウムと鉄分  
栄養機能食品(鉄・葉酸)

ビタミンD 葉酸 ビタミンB12 低脂肪

食生活は、主食、主菜、副菜を基本に、食事のバランスを。